

「エコ」は防災になる!!

10月13日は「国際防災の日」です。1989年に国連が制定した国際デーのひとつで、英語では「International Day for Disaster Reduction」と表記され、直訳すると「災害リスク軽減のための国際デー」となります。災害に対する備えを充実させ、災害の予防・被害減少を実現することを目的に制定されました。

日本で起こった自然災害はご存知と思いますが、世界各地でも様々な自然災害が起っています。

2022年 世界の主な自然災害		※参考：海外消防情報センター
地震災害	5カ国 6 箇所	死者：約 1,565 名
大雨・豪雨災害	13 カ国 18 箇所	死者：約 3,251 名
台風・ハリケーン・サイクロン	3 カ国 5 箇所	死者：約 583 名
寒波・大雪	3 カ国 3 箇所	死者：約 98 名
熱波・温暖化	2 カ国 2 箇所	死者：約 1,009 名
火山噴火	1 カ国 1 箇所	死者：約 3 名

世界での自然災害は、近年、発生回数や被害の大きさが増大しています。このような自然災害をもたらす「異常気象」は世界各地で頻発しており、世界気象機関(WMO)によると50年間で5倍近くに増加しているそうです。「異常気象」は多くの場合「気候変動」によって起こり、その要因の1つに「地球温暖化」が大きく影響していると言われています。

2021年、世界の科学者でつくる国連のIPCC(気候変動に関する政府間パネル)は、地球温暖化の原因を「人間活動の影響によるもの」と断定しました。それは、私たちの暮らしを変えることが地球温暖化の防止になるということです。

節電やゴミ削減、エコバックやマイボトルの持参などの「エコ活動」は、すでに皆さんも行っていることと思います。これらの地球温暖化を防ぐための「**エコ活動**」は、**延いては「防災」**となるのです。

国連では、地球温暖化を防ぐための行動を示しています。ぜひご参考にしてください。

外部リンク：国連「ACT NOW～個人でできる10の行動～」